阿知須町広報

阿知須町役場発行
〒754-11 山口県吉敷郡阿知須町
発行人 阿知須町長 定好太郎
編集人 阿知須町役場 武明
印刷所 宇部市東区琴芝町五
山日出版局
電話1725番

大口需要 四百五十万圓にのぼる

小口競賣は 十二月十五日 現地で

町では本年度当初予算歳入三千四百万円のうち財産処分（町有山林立木売却）として三百万円が計上されていたが、その後学校建築、火葬場建設費及びその大半を町起債を以て充てていたにもかかわらず政府の地方起債予算額削減に伴い申請の認可が半減されたので再三に渉り総務、農業調査委員会を招集協議の結果、止むを得ず立木売却面積増加を決議、総面積三十七町歩、金額約六百万円を予算計上するに至つた。

（伐採搬出期限は何れも昭和二十一年十一月二十日まで）

まず売却の第一回は社会に落札、予算に近い価額で次の通り売却を決定した。

十一月十六日大口簡易裁判所で

◎買受人 宇部林業組合（代表者 児玉林平氏）

地番 焼野道より北山二三八九の一番地の内

面積 十六町一反七畝歩

樹種 松

代金 三百三万五千円

◎買受人 宇部木材株式会社（代表者 酒田敏一氏）

地番 前と同じ

面積 十町三反七畝歩

樹種 松

代金 百四十六万円

（後略）

一般購入希望者は向う半年前八時半より受付け、二十日午前十時から一般入札の上落札者を決定する。

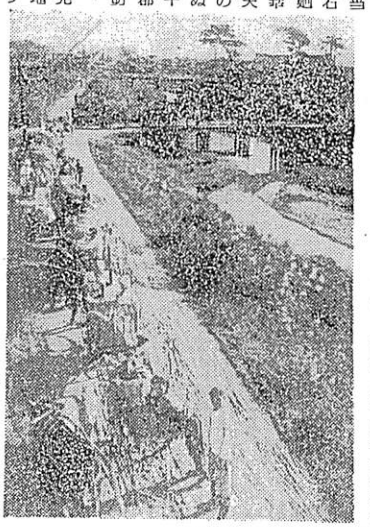
二俣瀬村石土路遊園地附近に参集されるようのぞんでいる。

郡内トップで雑務供出 完納

ここしの本町供米五、四四五石

阿知須町本年度産米供出割当量は、それぞれ感謝報奨が寄せられた、雑務供出割当四、九五〇石と超過供出五四五石の合計五、四四五石で去年の割当五、〇二八石をはるかに上廻つているが、幸い恵まれた好天候と農家各位のなみなみならぬ努力のお陰で十二月一日吉敷郡下のトップを切つて雑務供出、九五〇石を完納、県知事、地方事務所長より

町では農家各位のこの努力と誠意を以つて更に超過供出割当完遂を期している。



消防團員災害補償 組合へ加入

第三回追加予算など十一月の定例町会

十一月定例町議会は十八日町議会場に招集され、定刻午前九時開会（河村翁、中谷國良次郎）次の諸議案を審議、原案通り可決確定をみた。

❶阿知須町分賦条例一部改正について

（改正の要旨）

一般購入希望者は向う半年前八時半より受付け、二十日午前十時から一般入札の上落札者を決定する。

二俣瀬村石土路遊園地附近に参集されるようのぞんでいる。

❷阿知須町教育委員会事務局職員定数条例設定について

（教員を除く）

❸阿知須町教育委員会委員の報酬及び費用弁償条例設定について

（イ）報酬年額 公選委員七千円 議会選出三千五百円

（ロ）日当 何れも一日百五十円

❹山口県町村消防団員災害補償組合設置について

県下町村の非常勤消防団員の災害補償（県庁内）負担金年額一人につき五十円

❺一般会計歳入歳出第三回追加更正予算について

（歳出の主なもの）

教育委員会費三四万八千円、農業費（農業補助）四〇万円、耕地事業費（耕土培養対策費）五二万八千円、林野費三六万円等で増額計二百四十万円となるがこの財源四（歳入）は既定予算削減と山林売却金を以て充てる

❻阿知須町金融公庫設置について

吉敷信用金庫阿知須支店を新しく指定

❼国定資産評価審査員選任に就て

伊藤順一……再任

引続いて協議会にうつり

❽竹本総務委員長より過日同委員会で申合せた旅定町長の一級俸（一千円）を贈り全員感謝十一月一日から実施

❾中本副議長は本町会で決定をみた阿知須町教育委員会事務局職員定数条例に関する

❿阿知須町金融公庫設置について

吉敷信用金庫阿知須支店を新しく指定

⓫国定資産評価審査員選任に就て

伊藤順一……再任

引続いて協議会にうつり

⓬竹本総務委員長より過日同委員会で申合せた旅定町長の一級俸（一千円）を贈り全員感謝十一月一日から実施

⓭中本副議長は本町会で決定をみた阿知須町教育委員会事務局職員定数条例に関する

洩れてはいませんか？

来春入学する児童しらべ

町教育委員会では来年小学校に入学する児童の調査を各部落世話部を通じて行うことになつたが、学齢児を持たれる一般保護者はもれのないよう世話部と連絡の上、十二月二十日までに教育委員会（町役場）教育係まで御届けのこと。なお来春入学児童予定数は阿小校一七九名、非小校六〇名位の見込み。

（每度はごえんとうづく供米隊）

固定資産税 第三期分

納期は十二月二十五日限り

執務時間は

八時半から
四時半まで

新年互禮会

御申込みは早目に

町では例年通り新年名刺交換会を次の要領で実施しますから会費を添えて御申込み下さい。

△とき 一月一日午前十時

△ところ 阿知須中学校講堂

△会費 一人百五十円

△申込み 十二月二十五日までに町役場庶務係（各部落世話部経由）

以上で町会ならびに協議会を終了

正午散会。

（附）協議会❸町制五周年記念行事に就ては十二月二日開いた総務委員会で検討した結果、本町は山口市との分離後五カ年を経過せる現前町制をしいてのち併行して守少年不良化防止の一翼として最非とも男子（中学卒業後）の教育を実施するよう要望した。

❽山本（忠）議員は本町の町制五周年に鑑み意義ある式典及び行事計画を協議、金員賛成し早速総務委員ならびに各委員長を以て特別運営委員会を開き協議を進めることになつた。

申込みをお忘れなく

老齢もと軍人等に特別給與金

政府では過日の閣議決定に基き老齢もと軍人等に対し、特別給与金（一人当り二千円）を支給することとなつた。受給資格者及び申込み期日はおおむね次の通りであるが、申込用紙その他詳細については町役場社会係へ問合せのこと。

◎受給資格者

1、普通恩給又は関之支給される扶助料に関する恩給証書又は、扶助料証書を受けたもの。

2、終戦後軍人恩給停止の措置によつてその恩給が支給されなかつた者。

3、明治二十六年一月一日以前に出生し、昭和二十七年十二月一日現在生存している者。

但し前記該当者でも左記のものには支給されない。

イ、現在普通恩給を受けているもの。

ロ、公務扶として在職しているもの。

ハ、恩給権利を失つた者（二年の禁固以上の刑、その他）

◎申込期日

昭和二十七年十二月一日から二月二十八日まで（商印御印有効）

◎受給者

社会係長 片岡鶴雄（総務課長兼任）

社会係 西村智美（施設第）

施設係 木原智三（農業委員）

産業係 北野一夫（税務係）

◎新任（十二月一日付届）

税務係 土本源一、野村舒榮

施設係 伊藤信一

庶務係 田辺静

◎異動

社会係長 片岡鶴雄（総務課長兼任）

社会係 西村智美（施設第）

施設係 木原智三（農業委員）

産業係 北野一夫（税務係）

◎新任（十二月一日付届）

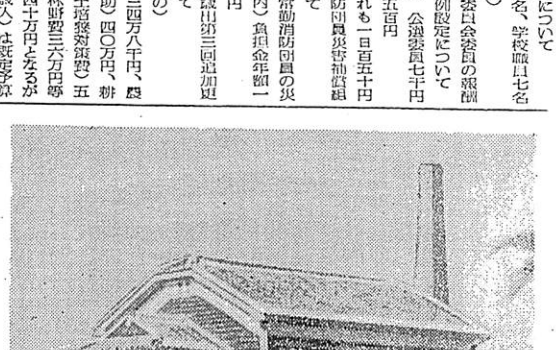
税務係 土本源一、野村舒榮

施設係 伊藤信一

庶務係 田辺静

成 岡山火葬場の完

町内字岡山墓地に敷地七〇坪、総工費百二十二万円（炉六五万円、敷地三万円、上家五四万円）で九月着工以来鋭工を急いでいた町立火葬場は去月二十六日三十坪の上屋工事完了を最後に写真の様な立派なものが出来上つた。完成した火葬場は新設用、火葬炉覆槽、附槽各一炉で立派な斉場場も附設しており、近く火入式を行うが、使用料その他使用に際しての通常方法については目下研究中。



トピックス

☆阿知須婦人会では前述高揚のため会員約三千名が二十四日山口裁判所で行われた「田開徳子公判」に傍聴団を組織した。

☆町教育委員会では十一月二十五日から六日間大津郡日根村公民館で開催された県協会公民館研究大会へ四委員ならびに町立三校長が出席、婦途統市に立寄り県下一を誇る同市の公民館、県立図書館や施設モデル校の第一中学校等を見学。

☆二十八年度国制消防祝賀式は一月十日午前八時半阿小校々庭で行われるが、本年からは式後の余興（放水、分列）ならびに景品を授与する。

☆阿知須婦人会では二十八日午前九時から町公民館で「洗濯ならびに料理、衛生など多彩にわたる講習会」を開催し会員約三十名が参集、成果をおさめた。なお講師はミツワ生活科学研究所技師並木康雄氏。

☆農協組では十二月二十四日午前中、阿小校で農業協同組合法の余興として婦人会による「人はどうでもよい」自分勝手な振舞いや「礼儀作法と道徳精神」が失われようとしている▼子供等」が実に多いとの結論が現われた▼これは勿論社会状勢がそうさせたのには相違ないが、無意識に行われる家庭における大人の言動、動作が大きな影響を及ぼしているのは、かくせない事実である。▼子供は親真似が至つて敏感である。▼PTAの趣旨を指摘したものにこんなのがある。特徴な父兄が親しみの余り教師との限度を越した馴れ馴れしい態度に子供達を惑わす：云々。とあるが、父兄なる人、つねに〝親しみ〟にも礼儀〟を持つて教師への尊敬の念を忘れてはならない▼また先日本町での「ストリップショウ」には子供の為に不健全な、観者は勿論賛成だから文句は言えないが、子供の教育上、出来るものなら今後は遠慮して欲しい旨の投書があつた▼子供を持つ親は自分の子供の年令や日常の動作にたえず細かく注意し思い環境に染まぬよう心掛けねばならない。▼子供は学校に通つている〝教育は先生に授けて呉れるもの〟ホツタラかしている飛んだ家庭が沢山ある。子供がよくなるも悪くなるも家庭の力が偉大な役目をなすこと我々は今更ながら痛く反省し、のび行く第二の阿知須町民のため明朗でしかも健全な社会環境をつくるべく努力しようではないか。

相合傘ナラなお結構

貸します商店寄贈の駅ガサ

このたび本町の署名商店から雨傘（商店名入り）を寄贈して頂きましたので、これを常時駅に備付けて置き町民の皆さんが下車されて雨のため御困りの際はお貸しすることになりました。御遠慮なく御利用下さい。何分御付数にも限度がありますから、なるべく合相合に御願い下さい。

なお御用すみの際は御忘れなく至急返えし下さるよう御願いします。（阿知須駅長）

御用納めは二十七日

町役場及び町教委会は町民の皆様に本年の御用納めを県の指令に基き十二月二十七日（二十八日は日曜のため）と決めたので御用のある方は同日午前中までにお済ませ下さい。

口を揃えて『修身科』の復活

本町に於ける教育輿論調査の實態

県教育委員会では、戰後選ばれた六・三制教育はうまくいっているか、否かを世間一般から声を聞くため、このたび県下市町村に呼びかけ、百七十人に一人の割合で十五歳からなる教育世論調査を行った。本町でも二十才以上の成人三十名を抽出し世論を調査した結果、相当活発な意見が続出したが最も関心の多いのは、子供の躾の問題と、PTA、教育委員会への要望である。このうち主なものを拾って見ると次の通り。（カツコ内は解答者）

問一　これからの教育で一ばん力を入れなければならないのはどんなことだと思いますか。

（解）少しばかり悪くなったというのが大半の意見でこのうち❶先生に会ってもお辞儀をしない（四十代女、中卒、無職）❷帰校途中よく寄食いをする（三十代男、会社員）

問二　新しい教育のしかたを、戰前に比べてどう思われますか。

（解）「どちらともいえない」というのが圧倒的で、この中よいと思う理由は生徒が自発的になった。反対にわるくなった点では、お行儀が悪いというのが挙げられている。

問三　学校の先生につよく希望したいのは、どんなことですか。

（解）❶礼儀正しい子供のしつけ（三十代女、無職）❷伸び伸びとした子供に（四十代男、工業）❸教育者としての資質を失わないように（三十代男、農業）

問四　今この児童、生徒のお行儀を戰前と戰後とくらべてどう思いますか。

（解）少しばかり悪くなったというのが大半の意見でこのうち❶先生に会ってもお辞儀をしない（四十代女、中卒、無職）❷帰校途中よく寄食いをする（三十代男、中卒、会社員）

問五　児童、生徒のお行儀や心をよくするためにはどうしたらよいと思いますか。

（解）全般的に「修身科の復活」を叫んでいる。❶警察や刑務所などの見学をさせ情操教育をもつと：（四十代男、中卒公務員）❷一週一回宗教訓和を聞かせる（五十代女、農業）

問六　近ごろ修身科のことがいろいろ問題になっていますが、それについてどうお考えですか。

（解）「せひ修身科をおいて欲しくてほしい」が八〇パーセント

問七　中学校、高等学校での男女共学をどう思われますか。

（解）よい点もあり、悪い点もあるというところが多いがよい方では、男女の勉強（競争）意慾が向上した（三十代男、中卒、工業）悪い点では、男らしさ、女らしさを失う（二十代男、商）

問八　今ごろの教科書について

（解）よくなった、落ちた同数有半で、なぜ学力がついたかについては❶子供が自発的に勉強するようになった。（四十代女、専卒、公務）落ちた理由は、❶勉強の範囲が広くなったので、部分的に落ちた、例えば漢字をよく知らない（四十代男、農）❷程度の低い生徒が多い。（三十代男、中卒、会社員）

問九　近ごろの児童、生徒の学力を戰前に比べてどう思われますか

（解）よくなった、落ちた同数有半で、なぜ学力がついたかについては❶子供が自発的に勉強するようになった。（四十代女、専卒、公務）落ちた理由は、❶勉強の範囲が広くなったので、部分的に落ちた、例えば漢字をよく知らない（四十代男、農）❷程度の低い生徒が多い。（三十代男、中卒、会社員）

問十　定時制高等学校についてどう思いますか。

（解）「関係ある人が少ないと見えてよくわからない、と思いて、ないものが八十パーセント」だが、働きつつ学ぶことが出来るようになったので大変よろしいんと力をいれてほしい（四十代男、農）

問十一　お子さまのため学校の保健体育でこんな点をつよく希望されますか。

（解）結核の早期診断と治療促進点（五十代男、中卒、農）男生徒は角力、女生徒には弓道を奨励せよ（三十代男、中卒、公務）

問十二　学校給食についてどう思われますか。

（解）どちらでもよいというのが大半。

問十三　お子様の教育費は、家計にひびきますか。

（解）大変家計にひびくが、子供のために辛棒しているという親心が多く❶PTAの費用が多すぎる（三十代男、会社員）

問十四　近ごろのPTAについてどう思われますか。

（解）「よい点も悪い点もあって一がいにいえない」が圧倒的で、よい点では❶父兄が教育に関心を持つようになった（四十代男、中卒、公務）❷学校と家庭との連絡が非常にうまくいく（四十代男、中卒、農）悪い点では❶幹部の独尊的行為は困る（二〇代女、無職）❷父兄の一部（ことに婦人）が、はきちがえた親しみで教師と衝突するのをよく見受るが子供を惡する様に思うので全くいけない（三十代男、中卒、自由業）

問十五　教育委員会にたいしてどんなことをつよく希望されますか。

（解）市町村の教委会については❶学校備品の完備（三〇代女、中卒、商店）❷病気以外で欠勤する教員の監督（四十代男、中卒、公務）❸同一学校に永年勤続する教員組織を一掃せよ（三十代男、農）❹社会教育予算点を増さ特に公民館設置を奨励する（五〇代男、中卒、農）県教委会への期望は❶教師の生活の安定確保（二〇代男、会社員）❷公民館教育に力を入れてほしい（五〇代男、農）

◎日本教育について考えている一般的な意見

（解）❶優等生制度復活による競争意慾の涵養（四〇代男、中卒公務員）❷二十才以上の女教員は悟異の点が現われやすいように思われる（三〇代男、商）❸ジョードテスト法の試験制度は厳しく公式の感がするので好ましくない（二〇代男、中卒、農）❹科学実習に重点（三十代男、農）❺PTA役員は学校の干渉によって選定してもらいたい（五十代男、中卒、農）❻教委会のボス化は教員にも責任あり自覚を望む（四十代男、農）

寒くても待こうよ母さん歸えるまで

町では防火週間に因んで町内小、中学校児童生徒から防火ポスター標語を募集していたが應募九〇点、ポスター一〇五点の応募数にのぼり十一月十三日町役場で関係者慎重に審査の結果、次の通り入選者を決定した。

◎ポスターの部

（非関小学校）

一等　原田英雄（3年）

二等　大田孔子（5年）岡照田和子（6年）三等三好正規（3年）岡藤井信征（2年）

（阿知須小学校）

一等平野真（3年）二等大賀智子（5年）岡植田欣正（6年）三等藤友英雄子（6年）岡今井崇弘（2年）

（阿知須中学校）

一等　原田英雄（3年）

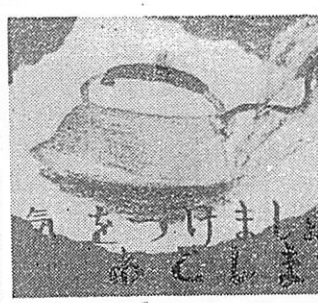
二等　大田孔子（5年）岡照田和子（6年）三等三好正規（3年）岡藤井信征（2年）

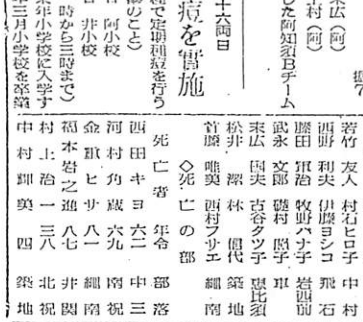
（阿知須小学校）

一等平野真（3年）二等大賀智子（5年）岡植田欣正（6年）三等藤友英雄子（6年）岡今井崇弘（2年）

（阿知須中学校）

防火ポスター・作選入語標





◎標語の部

一等　原田英雄（3年）

二等　大田孔子（5年）岡照田和子（6年）三等三好正規（3年）岡藤井信征（2年）

（阿知須小学校）

一等平野真（3年）二等大賀智子（5年）岡植田欣正（6年）三等藤友英雄子（6年）岡今井崇弘（2年）

（阿知須中学校）

□写真説明・防火ポスター入賞者井小校原田君（上）阿小校山路君（右）阿小校平野君（左）

一等山路司男（2年）二等大田静校（3年）岡上藤紫治（3年）三等上野浩司（3年）岡藤井洋三（3年）

（非関小学校）

一等　寒くても待こうよ、母さん歸るまで　松永節子（3年）二等三等武男智子（4年）岡大田節子（6年）

（阿知須小学校）

一等　母さん一人にまかせずに、みんなで守ろう残り火を　中野宿海子（4年）二等田辺節子（3年）岡岡村智子（3年）三等松代光正（3年）岡中野宿海子（4年）

（阿知須中学校）

一等　一等（該当なし）

二等　西村健（2年）岡細田暁美（3年）

三等　細吉正代（3年）岡釈野妙子（3年）岡細増武子（3年）

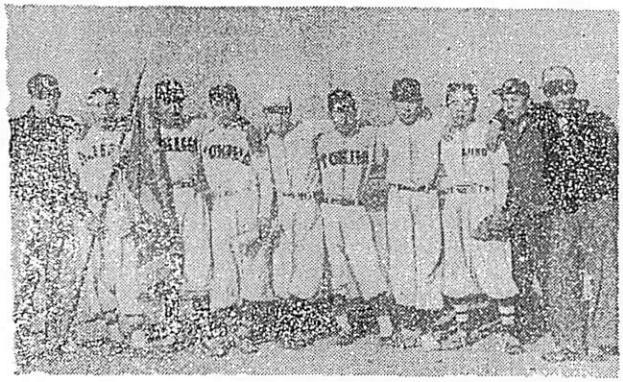
好投の藤村、末廣のホームラン

雪辱果し近郷青年野球に堂々優勝

初秋晴間を予定されていた第三回近郷青年野球大会は都合により延び延びとなっていたが、愈々絶好の野球日和に恵まれた十一月九日（日曜日）前年優勝小郡軍をはじめ新鋭、古熊八チーム参加のもと阿中、阿小両校グラウンドで華々しく開幕。

まず第一会場阿中グラウンドでは山陽北、阿知須Aが第一試合で対戦、阿知須Aの猛攻に山陽北反撃も空しく一〇A対〇で敗退、第二試合は大内対小郡で前年優勝戦で惜勝の借を持つ阿知須Aは力戦奮闘したが及ばず小郡チーム左腕投手梁谷君の快闘に牛耳られ五A対二で敗れた。

一方第二会場阿小校では選手の士気百倍。一回戦を三者凡退と幸先よき出足、その裏一番バッターに四球しランナーを巧みなバント作戦で送り込み一点を返した。その後両軍とも好投、好守備で無得点に終り、六回裏投手を代えた阿知須Bは一死後一、二塁のチャンスを迎えたが、B軍左腕投手藤村君の好闘は見事に決り三対〇で阿知須Bの勝利となった。



◇優勝戦

小郡　010000000＝1
阿知須B　200000000＝2

1回 2A 5A 4
2回 5A 2 4A 小郡
3回 10A 0 阿知須A
4回 10S 阿知須B
5回 4O 阿知須C

小郡　0100000＝1
阿知須B　2000000＝2A

1回 2A 5A 4
2回 5A 2 4A 小郡
3回 10A 0 阿知須A
4回 10S 阿知須B
5回 4O 阿知須C

【小郡】村野非城村下松田谷島
【阿知須B】岡野崎広畠村崎野村
【阿知須A】山陽北
【阿知須C】岩国

学園だより

☆町教委では阿小校大田水城教官の跟代将として秋本百合子先生の新任発令を行つた（町教委会初の人事）なお十一月二十日着任された先生の経歴は次の通り。

小郡町在住、二九才、県立宇部高女を経て昭和十七年三月山口女子師範（二部）卒、上宇部国民、宇部国民（宇小）二俣瀬国民各校訓導を歴任二十一年八月退職

☆町立三校では指導連絡と職員相互の時間を図るため二十日午後阿中校を除て対抗バレー大会を開催、終始熱戦に続くユーモア戰を開催、更に懇会終了後、同校に於て懇親会を開き意義ある一日を送つた。

☆町教育委員会では十一月十九日初の学校視察を兼ね町内各校に町教務職員と町立小中校職員との初対面を行つた。

☆阿中校ではかねて計画していた開校五周年記念式典ならびに行事を十三日午前九時より同校に於て開会、町民多数の参会がぞめている。

なお参会熱戦裡に阿知須軍は二アルファア対一と終に待望の勝利を果し準決勝戦に駒を進めたが、B軍左腕投手藤村君の好闘は見事に決り三対〇で阿知須Bの勝利となった。

購入図書紹介

知章　宮本百合子、ふらりひょうたん　高田保、モンテルパ山本厚信、原爆の子　広岡時夫、ひまわり娘　源氏鶏太、新平家物語七巻　吉川英治、宮本武蔵六、八巻　吉川英治、自銀伝五巻　河上肇、三国志　吉川英治　叛乱　立野信出、盗賊は長崎にいた　永井隆、日蓮　山岡荘八

◎雑誌

文芸春秋、新潮、新女苑、婦人公論、婦人倶楽部、婦人画報、婦人生活、婦人朝日、婦人公論、婦人之友

陸に！海に！伸び行く阿知須町

（写真説明）岡山から見た本町の全ぼう

反省すべきは農村青年の生産意欲

農協青年団長　古田智男

先ず語りたいのが山口沢庵漬で、年の暮から正月にかけて見はるかす丘の畑に続く白い屋根がその原料大根だ。西岐波より次第に中心は北に移つたのが十五六年前のこと、米についで二番目に多くの現金収入となるから有難い。

大部分が農協を中心として、がつちりと結び合つた強固な組織の生産態勢は、独立後の世界経済の荒波の中に投げ出されても微動だもしないように絶えず一致協力して腕は磨かれつつある。

日本農業の持つ宿命的な生産効率の問題も労働効率の問題も農地改革以来更に零細化された経営規模の中から如何に立ち上るかの努力は阿知須町農業においても語り得るが、しかし農業協同組合を中心とした文化活動により農民自身の自覚は次第に高まり、生活文化も一段と向上し、また小学校中学校の地域社会に順応した教育、充実の努力はより郷土発展に貢献し更に教育委員会における青年学級新設の計画はより一層の光輝を加えることであろう。

農村新生運動は、町当局と農協と生産個々の農家と一丸となつてその実行は計画せられ、また沢庵漬の外に煙草、西瓜、ビール麦、輸出タマネギ等々、特産は歩一歩真の阿知須町農産物としてどつしりした発展を見つゝある。

たゞ阿知須町農業を語る者の等しく憂慮されることは、現実の農業経営において青年の地位が経営主即ち父または母の立場において極めて等閑視されていることであろう、また青年の大部分が近郊都市の影響に殊更支配されて自主的な農業生産の意欲に乏しいことであろう。

前途を憂うる者の斉しく考慮すべき農民社会教育の難題と思う。

とまれ阿知須町農業の前途は実に洋々たるものがあるが、われわれは自分自身の日ごろのいろいろな体験なり経験も世論として広く公にし、理解ある相互扶助の平和な

三つ賞臣大林農く輝

伸び行く阿知須町に晴れの農林大臣賞が三つも転がり込み昭和二十七年の掉尾を飾つた。

【その一】十二月十、十一の両日阿知須学校で開かれた山口県主催の漬物大根並びに沢庵漬コンクールで県下各地からの出品点数百六十一点の中から本町浜表の辻野芳郎さんは大根の部で、岩辻の上野竹治さんは沢庵の部で各々農林大臣賞を獲得さすがに〝山口沢庵の本場、阿知須町〟の面目をほどこした。

【其の二】第二回山口県畜産共進会は十二月五日から三日間防府市で開催されたが「種鶏の部」で本町砂合一区吉野貫一さんの白色レグホン〝銀波〟号は見事一等に入賞、晴れの農林大臣賞のほか、県知事賞、日本畜産会長賞、日本養鶏協会長賞（優勝楯）全国畜産技術連盟賞（木杯）など九つの賞を同時に授賞した。

バレナウ言

教育百年の大計

阿知須中学校長　山本隆亮

中学校が昨年十二月五周年記念式をおえ、今年は小学校が八十周年記念に当つており、阿知須町の教育は八十才の高齢に達したということになる。

その間の校地の拡張、校舎の増築生徒数、教員数は逐年増加のあとをたどり現在阿知須小学校一七学級、教員二四、児童七九九名、井関小学校一一学級、教員一三名、児童三五五名、中学校一三学級、教員二〇、生徒五六六名、となつたのである。

両小学校にはそれぞれ老朽校舎があり、阿小の方は昨年十二月一日校舎の竣工を見たが今一棟あり、井関も同様である。中学校は本年度中に特別教室四室の一むねができ、工作教室、図画室、保健室、洋裁、和裁室と講堂が残つており、それ等が一通り出来そろうまでは相当の年月がたつであろう。

校舎には定命があるが、教育制度に本年は干拓工事も一応でき上るので町当局の応援を得て本格的な施設を備えるなど万全を期したい。商工業者の運営の改良策として税金攻勢に対処し納税貯蓄組合を設立することに着眼しているが、既に三十名の共鳴を仰いでいる。之によつて、とかく追われがちな生活苦を計画的に合理的に処理する鳥の効果を得ることができると思う。

とにかく不勉強だつた商工業も認識を新にし町当局の御協力を得てその界のエキスパートを招聘し、絶えず漸新的な商工業の在り方、経営法商業簿記々帳等について指導を仰ぎ、また同志でいろいろな研究を続け実績を挙げたい。

とか、内容には定命はない、世の中はつねに変つて行く、それに応じて教育制度が変るのが当りまえであり、教育内容においては教育思潮の変化の影響も見逃せない、明治から大正、昭和を経て大戦に入り大きな変革を来したことは周知のとおりであるが、敗戦によつて百八十度の転換をしたわけで新学制の実施によつてすべてが再出発となり、その見地に立てば新教育の年令は五才と言うことになる、講和条約発効後はアメリカさんの指導の手を離れてひとり立ちする事になつて成人式をあげた子供のように自由になり「自分達の考えで日本に適した民主教育を」と言う方向になつてきた事、至極結構ではあるが、うつかりすると軌道をふみはずしたり逆もどりするような点がないでもない、そこは学校自身が教育委員会の指導によつてしつかりした態度でやつていくことによつて、過ちを少くしたい。

色々の批判はあるが、新学制がしかれて、たしかに一大進歩と変革を教育の面ではかち得たので阿知須町の教育もその線にそつて順調に延びて来たし、ことに中学校は全然、新しく出発して大体、格好がついたのである。校地、校舎、内容設備の点においては他地区に劣らない発展を見、今後ますます充実を予想されており「延びゆく中学」の標準型ができつゝあるのである。

学校の規模の大きさは生徒数に比例し、生徒数の増減は町の発展に密接な関連がある。一時停頓状態であつた阿知須町の地勢図も、こゝ四五年の内に大きく変ろうとしている。それは干拓の完成とあいまつて多数の入植者がすでに予定されている点である。之に伴つて商店もふえようし、また工場の煙突も見えるようになろうし、岩倉山の東側、南側が住宅地としてのびてゆく可能性と考え合わせると阿知須町の将来は多端である学校の施設、内容の充実も一段と立派なものになることも期待してよかろう。阿知須の教育が阿知須町の発展とともに伸びることは当然のことであるし十年二十年のさきを見こして設備もなるべく恒久性のあるものを計画すべきであろう。学校教育と関連の深い社会教育の面では公民館活動があげられる。

にも大工場なく、また往年農業を極めた海運業、酒造業等も終戦前後に衰退し一見当村は、他町村に比べて如何にも活気の乏しい感がする。

然しながら金融業者として裏面から町内全般にわたり観察してみれば数年来の預金増加の状勢は、まことに顕著で、反面融資金はこれに比較して必ずしも多くはない。預金面から観れば、甘藷等値下りはしているが、主食の外に大根、煙草等豊潤な農業特産物を有しているので、さしたる収入減とはならず相当根強いものがあり、堅実

幾年かの歴史をもつ女子技芸学園が今年度きりで廃止になるのでそのあとをつぐ意味もあつて青年学級が中学校の敷地内に設置せられる案もある。

公民館活動は社会教育の中核となるものであるが、青年学級、社会学級、婦人会、町民の保健体育、図書館、博物館、視聴覚教育等広範囲の活動が組織立てられ、学校教育とつねに関連をもつて町民全体を対象とする教育活動が展開せられなければよい効果は上らないと考える。建物や設備もある程度は必要であるがその方が先行するとある地域に見られるようなおかしな結果にならないとも限らない阿知須の学校はもちろんのこと、町当局、教育委員会ともどもに手をとりあつて地域社会と緊密な連絡をとりながら積極的に阿知須教育の発展のためにとりくみ、最善を期すべきである。

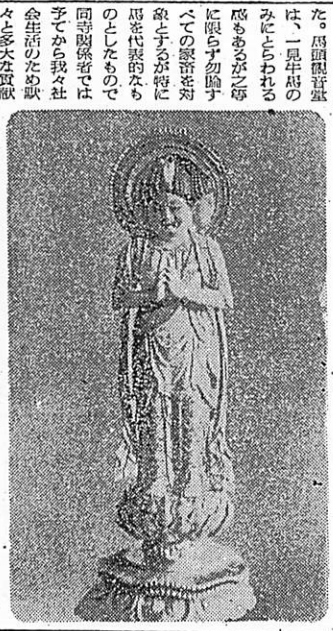
二十七年のそくせき

工事名	工費	竣工年月日	請負業者名
野口橋脇暗渠改造工事	一九、一〇〇	二七、五、一二	竹本盛治
河村製材所附近―漁業会入口まで側溝改良工事	一九七、六五〇	二七、六、二八	山本忠男
中学校井戸揚水施設工事	四五、〇〇〇	二七、五、二八	同上
阿小校水防倉庫並消防庫警察署前の門施設工事	二〇九、五〇〇	二七、九、三	藤沢貞之進
中学校井戸ポンプ施設工事	二七三、〇〇〇	二七、五、一〇	馬越工務所
阿小校西条砂郷線中暗渠改造工事	五一、〇〇〇	二七、六、二三	山内克巳
中学校用水溜池堤防保強工事	九八、〇〇〇	二七、七、二二	中尾岩雄
第一部消防器庫両妻切防工事	一一、二〇〇	二七、九、二	須崎彌十
船渡橋架替工事	四一〇、〇〇〇	二七、一〇、一五	阿知須建設株式会社
上赤迫橋新設工事	一二三、〇〇〇	二七、九、二四	山本忠男
中学校東校舎前石垣嵩山並排水施設工事	三三、〇〇〇	二七、九、二	竹本盛治
火葬場敷地整地工事	三〇、〇〇〇	二七、八、二九	山本忠男
火葬場築炉工事	六五〇、〇〇〇	二七、九、三〇	福岡市大陽築炉株式会社社長 江口作二
阿中井戸ポンプ配線工事	二八二、八〇〇	二七、八、二九	福永電気商会
阿小校給水管布設並足洗場施設	一四六、〇〇〇	二七、一〇、二	小郡町内田友二
火葬場上屋建設工事	五四〇、〇〇〇	二七、一一、二五	藤成建設
阿小校々舎建設工事	二、六一六、五〇〇	二七、一二、二二	中国建設工業所
阿小校々舎石材取除	二四、〇〇〇	二七、九、二二	林建設
阿中校給水排水施設工事	一七八、一三〇	二七、一一、二四	入江建市
河内踏切附近道路拡張工事	三〇、〇〇〇	二七、一一、一四	山本忠男
林道新設工事	三四、五〇〇	二七、一二、一八	中尾岩男
◎沖浦道路	一九六、〇〇〇	二七、六、四	中野伝左衛門
◎引野橋	二五九、〇〇〇	二七、五、三〇	山内克己
◎道角水路災害復旧工事	五五六、〇〇〇	二七、五、二〇	山本忠男

註◎印は補助事業

感謝しよう家畜の力
馬頭観音様　菩提寺に建立

牛馬を初め全家畜類を病厄から守り、健全な働きに依り家畜のもつ能力が充分発揮されるより良く不幸にして斃れたものと畜を永久に慰めるため、このたび本町河内の畜産振興地内に馬頭観音様が建立されるに至った。馬頭観音堂は、一見牛馬のみにとらわれる感もあるが之等に限らず勿論すべての家畜を対象とするが特に馬を代表的なものとしたもので同寺関係者では予てから我々社会生活のため駅々と多大な貢献をしたこの観音の尊像は生けるものは勿論きず救い給う大慈願の御心を如実に表現しており、来る春花の芽節の時と共に多数な行事に依って大供養が営まれる（写真は建立された馬頭観音様）



公民館とはこんなもの
日置村の運営研究會に出席して

出席者
阿知須町教育委員　中川伊之進
同　伊藤又右エ門
同　吉田　智男
阿知須中学校長　山本　晴亮
阿知須小学校長　岡本　能亮
非関小学校長　伊藤　賀夫

さて公民館及びその活動状況について若干詳記すれば

一、建物　敷地三〇八坪八十九坪の建坪を有する本館には青年学級その他の社会教育に使用される教室や図書室、階上日本間三室があり、その隣りには舞台演芸等に使用される建坪四十三坪の講堂がある。

二、本館の由来
昭和二十二年十二月元青年学校令を利用して発足したが、其後青年運営が軌道にのり時あたかも中学校建築、小学校講堂建築等の後をうけ財政逼々困難な四、

の特色として〝開ける山〟と呼ぶ通り当地は放牧場として好適であり現在多くの仔牛を放牧している。

次に教育関係について見るに小学校五校、中学校一校、県立農林高等学校一校及び専用建物をもつ公民館がある。

山口県の僻地に位していてよし山林財源があるにしても余計あげて教育に熱心なことが窺われる。

さて公民館及びその活動状況について若干詳記すれば

一、建物　敷地三〇八坪八十九坪の建坪を有する本館には青年学級その他の社会教育に使用される教室や図書室、階上日本間三室があり、その隣りには舞台演芸等に使用される建坪四十三坪の講堂がある。

二、本館の由来
昭和二十二年十二月元青年学校令を利用して発足したが、其後青年運営が軌道にのり時あたかも中学校建築、小学校講堂建築等の後をうけ財政逼々困難な状況ならびに足をのばして疲公民館を視察したので以下その大略を記して町民各位の参考に資する次第である。

当日関村は面積三、二七方里、人口一〇、一三一人で、その土地利用から見るに水田一千町歩、山林二千五百町歩であって、殊に本村と

町發展のカギは社会教育

（三）運営部
勤労精神の涵養と農林の科学的経営を目的に毎週金曜日午後、毎週水曜夜間に開催、開催している。

（四）集会部
非職大会、講演会、映写会、音楽会等

（五）体育部
青年団体育会其の他

四、運営協議会の印象

当館は前記の通り当地方唯一の社会教育施設であり、当然その村長の熱意と村議会の教育に対する深い理解とがよくこれを高揚して昭和二十六年度に於ける新公民館令が施工した三、本館の事業

（一）教養部（青年学級、婦人学級、成人学級、短歌講座、文化サークル）

（二）図書部、現在特志者寄附の約四文庫を含して二千九百冊余の蔵書である。

館長（助役兼任）の運営方針、主事の事業についての説明等信念をもっての落成献服の外なし更に引続き会員の賛同並に意見発表も活発に交換され、午後四時から約二時間にわたって山口大学助教授上野先生の〝世界平和の経済的基礎〟と題する平和に徹した信念から説々と説かれる経済講話に一同傾聴する。第二日は午前中、本協議会の予算〝町村教委の発足と公民館の諸問題〟〝職員指導所としての公民館の活動〟について会員の意見交換があったものを摘記すれば…公民館の使命

◇職組と役場との関に立って調整の振興をはかる。

◇青年学級を通じて調査の基礎的なものを培う。

◇産業教育の積極を増進する。

◇町村内の〝部落の声を〟把握する。

◇授産所の設置場所となった。

◇地域社会における各階各層の実情実態の調査、研究並に利用に関し実施援助すること

より全町村の教育の企画と方向づけに寄与する。

更に一行は庁に県下でも設備において、内容において、運営において名の知られている東公民館を視察するため午後同地に向けて出発した。

同館は道路を距てて明倫小学校と相向いて建てる近代的な左右建築

◇三七四坪の敷地に木館二九一坪、大講堂二六六坪、図書館二六二坪と見取遊園地六三坪が昭和二十五年十二月十五日竣成された。

二、内容設備として館内二室が博物館として充てられ日一郎氏寄贈の貴重な博物標本が展示されて市内児童生徒の研究に供されている。なお続きの二室は博物、理化の実験室を設け研究の指導をしている。更に階上二室には郷土史料、郷土物産の陳列場もある。

三、本館利用について

（一）大小講堂は会館場及視聴覚教育場として盛に利用されている。

（二）結婚式場に充てられている日本間洋間は市民の結婚改善の認識と共に利用が多い

（三）階下食堂は簡単に調食もできる。

四、市民体育団体並に体育行事と本館の使命

終戦後各種の体育団体ができて各々の計画と実践がなされていたが、その統合と市内学校及び各団体の体育行事の日取の開催り按配等に成功し市の体育振興に寄与するところが漸大である。

視察後の感想

教育といえば、とかく学校教育のみを想い社会教育（家庭教育も含めて）は何か別個のものに考えられ易い。併し学級教育は社会教育が望ましい姿におかれてはじめて万全が期せられ真価が発揮されることは多言を要しないことである。

而して終戦後の社会の混乱状態から一日も早く本然の日本の姿に立ちかえす新生運動は公民館活動に期待されるとが実に多い。本町においても近く館されることを思うが、その機構も出来、活動も総ぢられているときいよいよ町民の輿論が結集されて花も実もある公民館の建設を希いつゝ擱筆する

（岡本館長）

改訂された地代家賃

地代家賃が左記の通り改訂され昭和二十七年十二月一日から施行されるようになりました。

◎改訂価額

一、地代統制額（月額）
土地の固定資産評価額の千分の三

二、家賃統制額（月額）
家屋の固定資産評価額の千分の三・七に建坪当り二十四円を加え更に一項の地代相当額を加算した金額

三、特殊条件の場合
昭和二七年十一月三十日改訂により算出された地代家賃が従来の額より少ない時は改訂前の規定による。但し二十六年度の固定資産税に比べ二十七年度分が上昇しているときは、増額の四十八分の七を加えた金額を以て昭和二十八年三月三十一日までの価額とする。

◎農地の小作料
昭和二十七年度は従前の通りであるが、二十八年四月から省令で定める基準により農地ごとに定める。

麥の施肥法（その2）

普及員だより

前月のこの項で元肥について書いて置いたので今月は追肥について書くわけであります。

追肥といえば何時、何をどれだけ施すかということが主になって来るが、これは元肥と密接な関連があり、また麥の生育状況もしなければならないし、施す肥料の種類によっても一様でない。特に元肥の種類と施肥量を十分に考慮せて追肥をしなければならない。

以上のことは経験についてのことであって、前月に書いた通り燐酸及び加里は全量を元肥に施してあるから追肥の必要は全然ないわけである。若し加里の一部を追肥に残してあれば三月の晩期追肥に施すがよい。

さて経験についてであるが前述の通り麥の種類で晩期が困難であるか、また前月に示した元肥用量の場合には次の通りである。

（第一表）追肥三回の場合。

追肥の時期	硫安施用量	
一月十日前後	二貫	
二月十日前後	二貫	
三月十五日前後	二、五貫	

（第二表）追肥二回の場合

追肥の時期	硫安施用量	
一月二五日前後	二貫	
三月十日前後	三貫	

と、堆肥畦貫と硫安二貫五百匁を元肥に施して居る場合は次の第一表に示す追肥が適当であろう。また元肥と堆肥百五十貫と硫安三貫五百匁を施して居る場合は次の第二表に示す程度が適当であろう。

（第一表）追肥三回の場合。

追肥の時期	硫安施用量	
一月十日前後	二貫	
二月十日前後	二貫	
三月十五日前後	二、五貫	

（第二表）追肥二回の場合

追肥の時期	硫安施用量	
一月二五日前後	二貫	
三月十日前後	三貫	

希望を乗せて再出發の毛糸刺繍
一月十二日公民館で座談会

新加入を歓迎

町では毛糸刺繍の振興を図るため新春一月十二日午後一時から町公民館（役場前）で宇部市厚生館黒石先生指導振興対策の研究座談会ならびに製品の展示会を開き一般に公開するが、会員は勿論、特に新しく毛糸刺繍を試みる希望者に対しては指導説明を実施するから多数参集されるようのぞまれる。

遠慮なく御申込を…
郷土出身者へ広報発送

皆さんの親族、知人関係者のうち郷土出身の方々へ町広報郵送を希望せられる向がありましたならば、無料で配布してあげますから町教育委員会事務局内「広報係」まで御申込下さい。

お陰で高い町民のマクラ
起った事件は早く警察へ

阿知須警部派出所で昭和二十七年中における（一月一日より十二月十日まで）管内の犯罪件数を発表しましたが、これに依る各種件数は一九七件で昨年の一〇四件に比べ五三件の増となり、検挙数は一七二件で九一%の好成績を示しているが同所の調べによれば本管内犯罪は他の市町村から入り込みの流し犯罪が最も多く全体の八〇%を占めており犯罪内訳は次の通り。

罪名	発生件数	検挙件数	
強盗	七	六	
詐欺	五	二	
横領	七	一	
暴行	一	一	
傷害	六	三	
窃盗	一四	一三	
賍物	一	一	
強姦	二	二	
公務執行妨害	一	一	
暴力行為等処罰法	一	一	
賭博	一	一	
脅迫	一	一	
恐喝	一	一	
放火	一	一	
器物損壊	一	一	
横領	一	一	
経済犯	一六	一四	
その他	三一	三一	

◎備考　外に他管内の犯件検挙数は三一件

なお犯件発生の際は現場の保存を厳重にして（そのままにする）速かに警察に連絡することが最も肝要で明るい住みよい町にするために町民各位の協力が望む要望されている。

短歌

松永すみ子

天
はらからのまどいのなかに迎ふこのさきわびに変はいますな

（評）新しい年を迎えるに当っても思い起すのは、なつかしい亡父のことだった。

地　河野　京子

稲車押す手ものこれそれもし雨の小径に急くこゝます

（評）農村のとり入れ風景、子らを配して生きた。

人　景枝　栄雄

あらがひて別れ来し夜の更けゆきて雨滴の音さえてきこゆる

（評）雨滴の音に、何かしら悔いに似たものが胸の底からこみあげてくる。

映寫希望は ありませんか？

町教育委員会では、希望部落を対象に毎月一ないし二回位視覚教育映画を巡回し映し各地で好評を博しているが、実施方法については末端部落まで普及徹底していない向きもあるので、簡単にしかも誰にも面白く見られるうちに文化の水準を上げることのできる巡回映画をせいぜい利用されるようのぞんでいる。なお希望の向は上映希望月を指定部落を通じ教養会事務局社会教育係まで御申込みのこと、但し上映に当っては左記の条件を具備していなければならない。

❶会場は最少一坪の面積を有していること（広い民家でも可）

❷電灯は電気線で八五ボルト以上なければならない（動力線が通じていればこの限りでない）

❸開催に当っての経費約五百円を要する（映写技師の食費手当）

編集後記

町広報も町民皆様の御愛顧により遂に今回第十五号を算ねることが出来ました▲御忙しい郷土に併行して本誌も発展に心あるものと自信でいますが▲この点に関しても本町広報にふさわしいものを……と考えました精算▲山本町長考察による関手政治を新春に因んで断行することにしました▲静かな波の上を平和な〝かもめ〟が飛び交い力強い高度成長する阿知須町広報をしっかり励まして下さい。（O生）

よろこびとかなしみ

◎出生の部

父　繁穂　出生児　部落
岩元光雄　二男　辰幸　繁穂　岡
吉谷節幸　長男　幸夫　浜最
米永一男　長男　福夫　繁穂　岡
兼重雅之　長男　辰也　寺河内
福江保文　三男　伸美　小西
藤本忠一　五女　智江　東
植村忠夫　長女　ノリ子　且北
加藤　弘　長女　陽子　西条
松浦敏裕　二男　碧二郎　繁北
中野繁代四二女　玲子　繁北
石田節雄　二男　敏昭　岩国前

◎婚姻の部

夫　妻　部落
西村　勇　岡村　正子　西条
大富　東光　西田　節代　寺河内
上村　昌郎　寺河内　ミヨ子
腰井　陸行　藤重　智子　小東
村田伸佐男　篠田サヨ子　繁岡
橋本　三治　高木　節江　小西
真鍋　知好　中原マサヨ　岡祝
佐伯　信也　西村奥千代　砂三
市川　発光　友滑　鯵子　砂二
江本　宏雄　重榊キヨ子　繁岡

◎死亡の部

死亡者　年令　部落
村田京一（六二）　繁岡
伊藤賢次（二）　且東
部坂凌翼（三）　北祝